

安平の未来を考える 地区別計画ワークショップの意見集計表(項目別)

開催日時(参加人数):1回目…令和4年12月6日火曜日 18:00~20:10 (13人)

2回目…令和4年12月7日水曜日 18:00~20:10 (15人)

集計方法(考え方):グループワークはワールドカフェの手法で開催したため集計した件数は人数からの件数ではなくグループワークの各テーブル、各タームで「話題に上がった課題の件数」を1回目と2回目の両日をまとめて集計したもの。

(※同じ人がテーブルを移動して同じ話題で話をしていることが想定されるので、話題に上がってグループ内で話された課題の全件数を抽出することで話題性が高い課題を項目として集計)

NPO法人コミュニティシンクタンクいんくるらぼ@2023.1.13

| 大項目 | | 中項目 | | 課 題 | | 備 考 | | 目標(あったらいいもの、こと) |
|--------------|----------------|------------|------------------|---------------------|---------------------|-------------------------|-----------------|--|
| | | | | 小項目 | | | | |
| 自然現象 (気象) | 7 | 雪・除雪・路面 | 7 | 除雪作業が大変 | 3 | 除雪車が置いていった雪が重い | 1 | →防雪柵を設置して欲しい |
| | | | | 除雪にくる時間が遅くなっている | 1 | シルバー人材不足、地区で基準違う | 1 | |
| | | | | 農村地区はトラクターで自力で行う | 1 | 業者の人手不足で対応が遅くなっている | 1 | |
| | | | | 同じところに吹き溜まりが出来る | 1 | 高齢で運転が大変、事故への不安 | 1 | |
| | | | | 道路がブラックアイスバーンになる | 1 | 車がスタックする | 1 | |
| 自然現象 (動物) | 3 | 鹿・アライグマの被害 | 3 | 農作物の被害が出ている | 3 | | | |
| | | | | 車両事故が起きている | 1 | | | |
| 人口動態 | 13 | 少子高齢化で人口減 | 13 | 共同作業・農作業の負担 | 1 | 役職(会)が多い、なり手がいない | 3 | |
| | | | | 地域役員が恒常化し辞められなく負担 | 5 | 活気がないし盛り上がらない | 1 | |
| | | | | 若い人、働き盛りの世代が少ない | 5 | 消防団等地域の役割も人手不足 | 1 | |
| | | | | 妻・後継者がいない | 2 | | | |
| 生活 | 住居 | 4 | 4 | 農村部の広い家での生活に不安 | 1 | 今後、独居や体調不良への不安がある | 1 | →高齢者の共同住宅が欲しい |
| | | | | アパートなどが無い | 2 | 賃貸がなく住むハードルが高い(家を建てる) | 1 | |
| | | | | 空き家 | 1 | 下水道が通っていない空き家が課題 | 1 | →空き家の活用で賃貸を増やす |
| | 仕事 | 4 | 4 | 安平町・地区に働く場所がない | 4 | 若者が地区外に出ていってしまう | 2 | →職業訓練、語学学校、有機農業、タクシー運転養成などの講座があるといい →地元で大きな産業が欲しい |
| | | | | 上下水道 | 3 | 井戸水を使用(自分で掘る) | 2 | 水質調査が必要、地震後の水質が不安 |
| | 防災無線 | 1 | 防災無線が聞こえない | 1 | ※(インフラ)情報の分断 | 1 | | |
| | あびらチャンネル | 2 | 農村地区はエリア外が多く見れない | 2 | ※(インフラ)情報の分断 | 1 | | |
| | 光回線の整備・インターネット | 2 | 2 | 自宅に引き込むのが大変な手間 | 1 | | | |
| | | | | 自宅の環境整備が出来ない | 1 | インターネット回線の環境が出来ない | 1 | →サポートしてくれる人が欲しい |
| | 携帯電話等 | 3 | 3 | スマホ、電子マネー、マイナンバー | 2 | ICTは仕方がないが追いつけない | 2 | →高齢者のサポートが必要 |
| | | | | スマホの使い方が分からない | 1 | スマホ教室に参加したが突発的なもの | 1 | |
| | ゴミ | 1 | 農村地区はゴミステーションが遠い | 1 | 車でゴミを捨てに行く | 1 | | |
| | 病院・医療 | 8 | 8 | 安平町に入院施設がない | 3 | 何かあったときに不安 | 2 | |
| | | | | 相談窓口がない | 4 | 夜間何かあった時に相談できない | 1 | |
| | | | | | コロナで受け入れも相談も出来なかった | 1 | | |
| | | | | | 見てくれる人がいない | 1 | | |
| | | | | 救急車は呼びにくいので我慢するが不安 | 1 | | | |
| 買物 | 9 | 9 | 地元で商店やスーパーがない | 4 | 別地区や町外への買物が不便 | 1 | | |
| | | | コンビニが少ない | 1 | 本屋や文房具など学生の必要品を買えない | 1 | | |
| | | | コンビニの品数が少ない | 1 | もうひとつ欲しい | 1 | | |
| | | | 買物が大変 | 1 | セコマにホットシェフが欲しい | 1 | | |
| | | | | インターネット使えず通販できない | 1 | | | |
| | | | | 1回で買物が出来ない | 1 | →スーパー(マックスバリュースタンド)が欲しい | | |
| | | | | 食料品以外の買物 | 1 | ドック、かける君があるが他の買物もしたい | 1 | |
| 飲食店 | 3 | 3 | 飲食店が少ない | 3 | ピザ、寿司、丼ものの出前がない | 2 | →出前をする店が欲しい | 3 |
| | | | | | 定食屋、寿司屋、カフェ | 1 | →食事の選択肢が広がると嬉しい | 1 |
| | | | | | | | | |
| 移動 | 14 | 14 | 移動手段がない | 1 | 高齢者、免許のない人の移動手段がない | 2 | | |
| | | | | | 瑞穂、緑丘など農村部は特に不便 | 1 | | |
| | | | | 一人暮らしは車がないと出かけるのも大変 | 1 | | | |
| | | | | 代行サービスがない・ハイヤーが少ない | 4 | お酒を飲めに行けない | 2 | →タクシーがあると地元にお金落ちる |
| | | | | | | 土日、夕方はタクシーが捕まらない | 1 | |
| | | | | | | | | →新しい交通手段(都会にある電動キックボード) |

| | | 課 題 | | | | 目標(あったらいいもの、こと) | | | |
|------|--------------|----------|--|-------------------------------------|-----------------------------|---|--|---|--|
| 大項目 | 中項目 | 小項目 | 備 考 | | | | | | |
| 生活 | 移動 | デマンドバス | 2 | デマンドバスが使いにくい 急に使えない、使い方が分からない | 1 | →簡単な手続きで乗れるデマンドバスが欲しい | 2 | | |
| | | 公共交通が少ない | 2 | 子供達だけで移動できる手段がない あつまバスは安平地区にはこない | 1 | →子供達だけでも町内を移動できるバスが欲しい | | | |
| | | 巡回バス | 1 | 本数が少ないけど利用者も少ない | 1 | →上工幌町で運行を始めた日野運転のバスが欲しい | | | |
| | | JR | 1 | ホームに階段しか無く利用できない | 1 | →階段のないホームになるといい →安平と千歳を直接繋ぐ新しい道路が欲しい | | | |
| | 地域の人が交流できる場所 | 5 | 集まる機会と場所がない | 4 | | | →気軽に集まれる定期的なサロンがあると嬉しい | 2 | |
| | | 1 | 市街地と農村住民の交流がない | 1 | | | →日頃から一緒に楽しめる場所が欲しい →高齢者から子供が気軽に楽しめるイベントが必要 →婚活イベントがあるといい →安平地区の人はフレンドリーなので人のつながりを大切にしながら笑いの絶えない環境づくり →気軽に立ち寄れる場所(ワーキングスペース、足湯施設) | 2 | |
| | | 2 | 各種手続きが大変 年齢を重ねると自分のことで精一杯に | 1 | 予防接種、公共交通利用、介護サービスの 手続き | 1 | →手続きに明るい人が身近にいると安心するし必要 →若者を引き入れる必要がある | 1 | |
| | 草刈り | 1 | 家の周辺の草刈り | 1 | 腰が痛くて大変 | 1 | | | |
| | 文化・風習 | 2 | 風習 | 2 | 農村地区に嫁姑問題がある 若い人との関わりがない | 1 | 嫁世代が地域の行事を楽しめない 昔と違い世代間で確執がある | 1 | |
| | 移住者・観光 | 観光客 | 1 | 観光客のマナーが悪い | 1 | 家畜(牛)への感染症が怖い | 1 | | |
| 観光資源 | | 1 | 観光資源が少ない | 1 | 安平地区に立ち止まることがない | 1 | →馬の町を活用したイベントや公園づくり、引退馬の活用 | | |
| 移住者 | | 10 | 移住・体験・観光客が少ない | 6 | 受け入れる環境がない(家など) | 4 | →婚活イベントなどの人を増やせる取り組みが必要 →移住者への手厚い支援、呼び込む取り組みが必要 →空き家、分譲地など住居の確保が必要 →人を誘致できるようなアパートや家があればいい(水洗トイレ) →働く場所の確保、リモートワークのオフィス用意 →安平のことを客観的な視点で捉えられる町外の人のアイデア →お互いの強みを活かせる取り組みが必要 | | |
| | | 1 | 町内と移住者の確執がある 地域住民と移住者の交流がない 自治会に入らない | 2 | 交流する機会がない 繋がれる場所がない | 1 | →カフェ(wi-fi、充電スペース)が欲しい | 2 | |

| | | | | | | | | |
|----------|--|--------|---|----------------------------------|--------------------|--|--|--|
| 安平小学校 | | 廃校後の活用 | 6 | | | | →地域内・外の人が交流できる場にしたい →ホテル、アパートへの活用 →ユースホテル、田舎の宿、サウナ、宿泊施設 →生活が不安になった時に使えるシェアハウス →料理教室(鹿料理とか専門的な) →地区の中心にあり印象が寂れていくので早めに活用したほうがいい →水族館や動物園として活用する(馬、牛、鹿とのかれあい体験、羊の毛刈り体験、昆虫館…冬の来客も目撃め) | |
| まちづくりの方針 | | 町の機能 | | 昔は生活に必要なものがあった (飲み屋、訪問診療、集会等) | 昔のものがなくなり問題が発生している | | →古いものを大切に新しいものを取り入れて今あるものをアップグレードする →これにより安平地区の既存の考え方や移住してくる人達の考え方の距離感を縮めることができる →先進技術を取り入れるのもいいが、高齢の方が取り残されないようにしたい →ゴールは、利便性よりも皆が安心して生活できる町にしたい →全体の問題だけではなく個人の問題も解決できる取り組みが欲しい | |